

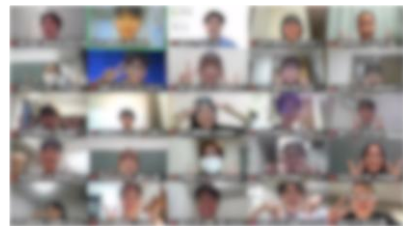
関西北陸ブロック 新学期進捗交流会 #1

概要

日程：2025年10月15日(水) 18:30~20:00
場所：オンライン(Zoom)
当日資料：[こちらから](#)

参加者

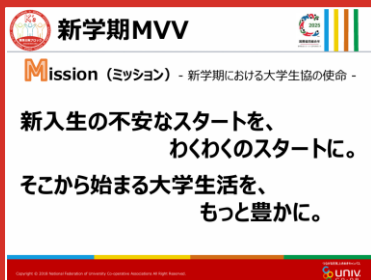
富県大(1)、福井大(3)、龍谷大(1)、
奈良女(4)、奈良教(2)、滋県大(1)、
滋賀大(1)、近畿大(1)、和歌山(1)、兵県大(1)
計10会員16名(学生委員15名、生協職員1名)



01 新学期MVV・新学期テーマと 新スタの振り返り

交流前に簡単に復習！

交流会の冒頭では、新学期MVVや新学期テーマ、そして新学期スタートダッシュセミナー2026の内容を振り返りました。特に新学期MVVと新学期テーマについては、2026年度の新学期に向けて会員生協のみなさんに自分事として意識してもらうため、それぞれに込めた想いを、新スタ当日の資料を用いながら改めてお伝えしました。

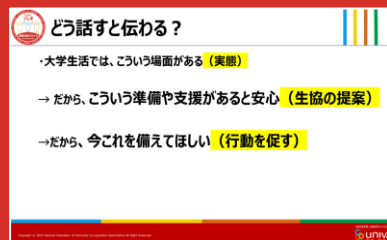


参加者アンケートでは、回答者12名全員が、新学期MVV・新学期テーマを、「とても理解した(他の人にも説明ができる)」または「理解した(自分事として落とし込めている)」と回答しました。

02 新学期MVVと新歓活動、 入学説明会とのつながり

新学期MVVを意識した新学期とは？

交流前には、新学期MVVを実際の新学期の取り組みにどのように落とし込めるかについても提案しました。今回は、「新歓活動」と「入学説明会」の2つを取り上げました。新歓活動では、仲間づくりを通して「大学生協は学生の生活を支える組織・味方」であると伝えることの大切さ、入学説明会では、大学生活の「実態」を踏まえたうえで、生協として具体的な「提案」を行うことの大切さをお伝えしました。



今年度の新学期はモノ提案の先にあるコト提案に込められた学生の「想い」が伝わるような提案がしたい。(福井大)

03 交流の時間

新歓活動、入学説明会をテーマに交流！

最後に、「新歓活動」と「入学説明会」の2つのテーマに分かれ、各25分ずつ、5~6人ほどの少人数で2回の交流を行いました。参加者は、自大学での2025年度新学期の取り組みや、2026年度に向けた試みを共有したほか、新学期における学生と職員の連携や、大学との関係づくりについて相談・質問しあうなど、活発な意見交換を通して多くの気づきや学びを得られた様子でした。

★ 交流の時間で新たに発見したこと、学んだこと

- ・ 体験ブースを用意することで、共済について新入生に楽しみながら必要性を感じてもらえる。(奈良女)
- ・ 他大学は1つの企画に対して複数人が分担して取り組んでいて、関わる人が多い様々なアイデアが出そうだと思います。(兵県大)

★ 交流を踏まえて、自大学に取り入れたいと思ったこと

- ・ 新歓企画で共済について扱っていないので、共済すごろくなどで楽しく知ってもらえるような工夫ができればいいな、と思いました。(富県大)
- ・ 従来の説明型のイベントだけでなく、双方向的で温かみのある交流を増やしていきたいと感じました。(近畿大)

